

# 果実品質がよく連年生産が可能なライチ優良品種

「クエイメイピンク」、「ワイチー」は果実品質がよく連年安定生産が可能

## 背景・目的

- ライチは、着花や着果が不安定で連年安定生産が難しい品種(果樹)です。
- マンゴーに続く亜熱帯果樹として、おいしくて、作りやすい品種の選定を行いました。

## 成果の内容

- 「クエイメイピンク」は、開花後100日程度で薄いピンク色に着色し、1果平均重は20～25g程度、糖度(Brix)は18%程度で果肉色や食味が優れています
- 「ワイチー」は、開花後100～105日程度で完全着色し、1果平均重は20g前後、糖度(Brix)は15～16%程度で、食味は中程度ですが、外観(果皮色、果形)が優れています
- どちらの品種も若齢樹から収量が多く、連年安定して結実します

表1 果実品質(平成26年～28年平均値)と食味アンケート結果(平成28年)

	開花日	完全着色 日数(日)	一果重 (g)	糖度 (Brix)	果皮色※	果形※	果肉色※	食味※
クエイメイピンク	3月30日	99.3	25.2	18.2	2.1	3.3	3.3	3.5
ワイチー	4月3日	102.3	26.0	15.5	3.5	3.5	3.2	3.0
チャカパット	4月7日	102.0	34.6	14.9	3.0	3.0	3.0	3.0

※印は「チャカパット」を基準3とした場合の食味アンケート評価(5:良い、4:やや良い、3:標準、2:やや悪い、1:悪い)

## 成果の活用方法(又は期待される効果)

- 主要品種の「チャカパット」に比べ、両品種とも収量が2倍程度になるため、増収が期待できます

表2 一樹収量(平成27年～29年平均値)

	一樹収量 (kg)
クエイメイピンク	5.29
ワイチー	6.08
チャカパット	2.81



「クエイメイピンク」果実



「ワイチー」果実

- 普及対象地域・面積：両品種とも、県内の全域で普及可能です

## 留意点

- 比較した品種は、平成24年に定植した根域制限栽培の「クエイメイピンク」、「クエイメイ」、「ノーマイチ」、「サラシエル」、「ワイチー」、「ヒーズーショー」、「チャカパット」、「カイマナ」、「サーカーン」、「タイソー」の10品種です